

特殊情報トーンを伴う UCCE SIP ダイヤラの動作

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 環境でゲートウェイが 200 Ok OFF HOOK イベントの前に Call Progress Analysis (CPA) UPDATE メッセージを送信する Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 環境における Session Initiation Protocol (SIP) ダイヤラの動作について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco UCCE
- Cisco UCCE リリース 8.x SIP または Skinny Client Control Protocol (SCCP) ダイヤラ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco UCCE アウトバウンド ダイヤラに基づきます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

問題

SIP ダイヤラがコールをキャンセルし、ゲートウェイがオフフック メッセージの 200 Ok の前に CPA 解析更新メッセージを送信すると、コード 2 エラー (DIAL_ERROR) メッセージが表示されます。

次の図に、このプロセス フローを示します。

ダイヤラで元の招待に対してゲートウェイから発信される 200 Ok メッセージが確認できないため、コールがキャンセルされます。

この動作は、コールがコールの実際の音声、留守番電話、ファックス、または同様のタイプの場合に予想されます。このとき、通信事業者は ISDN Q.931 CONNECT メッセージを送信して、ゲートウェイが 200 Ok メッセージを生成してダイヤラに転送できるようにする必要があります。

ただし、状況によっては、通信事業者がコールを完了できないため、特殊情報トーン (SIT) を使用してゲートウェイに原因を送信します。この応答には、問題を示す録音メッセージが続きます。

注: 詳細については、[特殊情報トーン](#)に関する Wikipedia の記事を参照してください。

これらのトーンが ISDN Q.931 CONNECT メッセージの代わりに送信されると、処理モジュールゲートウェイ CPA はそれを検出し、ダイヤラが違った 2 のエラー コードでコールをキャンセルする 200 Ok メッセージの代わりに、ダイヤラに SIP UPDATE メッセージを送信します。さらに、ゲートウェイはメディア パスを確立し、ダイヤラにアナウンス メッセージを渡します。

解決策

SIT コールに関してダイヤラの動作を修正するには、バージョン 9.0(4) コードで ES_4 をインストールする必要があります。詳細については、Cisco Bug ID [CSCuj55253](#) を参照してください。

注: このソリューションは、SIT M および SIT C のコールにのみ該当します。音声、留守番電話、ファックス コールなど、他の種類のコールでは、通信事業者が ISDN Q.931 CONNECT メッセージを送信する必要があります。これにより、ゲートウェイがダイヤラに 200 Ok メッセージを生成するようになります。Early Media オフアーが公衆電話交換網 (PSTN) によって提供され、ゲートウェイの Technical Assistance Center (TAC) とプロバイダー チームが関与して問題を修正します。